

令和8年度岐阜市公立大学法人事業計画

第1 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 教育に関する目標を達成するためにとるべき措置

(1) 学部・大学院教育の充実

ア 共通

- ・ 建学の精神である「強く、正しく、明朗に」をモットーとした高邁な人格形成及び、「ヒトと環境に優しい薬学（グリーンファーマシー）」を基本理念とした高度な研究に支えられた薬学教育を推進する。学部・大学院それぞれの教育課程の下で広い学術的知識や薬学に関する学理と技術の基盤を養い、人と環境に配慮し、道徳的に優れ、応用力があり社会に貢献できる薬学人材を育成する。
- ・ 入学受入れの方針（アドミッションポリシー）、教育課程編成方針（カリキュラムポリシー）及び学位授与の方針（ディプロマポリシー）については、教育研究審議会、入試試験委員会及び教務委員会で定期的に検証する。この方針は大学ホームページに掲載し、広く社会に公開し、シラバスや大学案内の冒頭に掲載し、全職員及び学生に配布し周知する。

イ 学部教育

- ・ 教育課程編成方針（カリキュラムポリシー）に基づき、基礎教育科目と専門教育科目を有機的に関連付け、1年次から卒業年次まで一貫した教育課程を編成し、グリーンファーマシー教育を推進する。
- ・ ファーマシスト・サイエンティストの育成を図るため、低学年のうちから薬学研究を意識する機会として2年生を対象とした早期研究室見学会を開催する。
- ・ 病院・薬局等の臨床業務の分野で活躍できる人材を育成する「医療薬学コース」及び、製薬企業等で研究者として活躍できる人材を育成する「創薬育薬コース」の2コースを設け、薬学研究に必要な技能や方法の体得を目指した演習科目、実習科目及び特別実習を重視した教育課程を編成する。
- ・ 3年生後期の研究室配属時には、特別実習での学生の予期せぬ事故を回避するため、化学・生物・医療論理に関するガイダンスを実施する。また、特別実習の単位認定には卒業論文の提出を義務付け、ルーブリック評価表を用いて確認・評価を行う。
- ・ グリーンファーマシー教育推進のため、各科目で講義・教材等について学生アンケートを実施する。
- ・ 薬剤師国家試験の合格に向けた学習を積極的に支援するため、実務面での能力育成の観点から総合薬学演習をはじめとする充実したカリキュラムを提供する。

数値指標	令和8年度の目標値	直近の値	参考年度/参考値
薬剤師国家試験新卒者合格率	90%	令和6年度 80.8%	令和5年度 87.1%

ウ 大学院教育

- ・ 大学院教育では、自立して創造的研究活動を遂行する研究能力、豊かな学力及び人と環境への配慮ができる優れた人格を醸成し、教育、研究、高度医療などの分野で薬学の専門職や研究者として指導的な役割を担うファーマシスト・サイエンティストを育成するため、薬と健康に関連した高度で先進的な研究により薬学の発展及び地域医療と地域住民の健康の増進に貢献するとともに、それに支えられた教育としてグローバル化に対応した英語で

の講義や各界で活躍する専門家による講義や講演会等を実施する。

- ・ 大学院生の研究マインド及びモチベーションの向上を目指して、学会での研究成果の発表及び学術誌への論文投稿等の機会を充実させるための経済的支援や競争的奨学金制度に応募できる環境を提供する。
- ・ 日本学術振興会や科学技術振興機構をはじめとする大学院生に対する特別研究員制度 (DC1、DC2)、次世代挑戦者挑戦的研究プログラム (SPRING) 等に積極的に応募できる推進体制を整え、学内説明会の開催や学生選抜の実施等を行う。

数値指標	令和 8 年度の目標値	直近の値	参考年度/参考値
日本学術振興会特別研究員 (DC1、DC2) 及び日本薬学会 長井記念薬学研究奨励支援 事業の採用者数	10 人	同右	令和 6 年度 9 人

- ・ 研究に対する高いモチベーションの維持に努めるため、大学院生の生活支援の充実等も含め、希望する学生の大学院進学を支援するキャリアガイダンスを実施する。

(2) 教育環境の充実

- ・ 科学的根拠に基づく課題発見及び課題解決能力を醸成するため、薬学研究に必要な技能や方法の体得を目指した演習科目、実習科目及び特別実習を重視した教育課程等を編成する。教職員で構成するワーキンググループや薬大移転・統合連絡会議等を通じて少人数制グループ学習に対応できる環境を整備する。
- ・ 将来、医療人としての活躍を目指す学生のモチベーション向上のため、1 回生を対象に製薬企業や病院・薬局などを見学する早期体験実習を行う。
- ・ 薬学スペシャリストの育成を目指し、「ふりかえりワークシート」、「ディプロマ・ポリシー到達度評価シート」、「ポートフォリオ」の作成を学生に指示し、6 年間の形成的な教育研究指導の充実を図る。
- ・ 英語によるコミュニケーション能力及び情報発信力の向上のため、TOEIC 学内試験を年 4 回実施するほか、岐阜市立女子短期大学と英語プレゼンテーションコンテストを共同開催する。

数値指標	令和 8 年度の目標値	直近の値	参考年度/参考値
英語力が CEFR B レベル以上の学生の割合	65%	同右	令和 5 年度 (10 年平均) 63%

(3) 教職員の教育能力・教育支援能力の向上

- ・ 教員の教育力や職員の教育支援能力の向上、大学教育の質の確保を目指し、FD/SD 研修を開催する。欠席した教職員のために講演を録画し後日受講できるように配慮するなど、全教職員が受講できる環境を整える。

数値指標	令和 8 年度の目標値	直近の値	参考年度/参考値
FD/SD 研修の参加率	80%	令和 7 年度 87.3%	令和 5 年度 (3 年平均) 71.6%

- ・ 教職員が理事長に対し、提言や改善提案等の意見を述べる機会として理事長面談を行い、

問題点の洗い出しや対応策・改善策の検討・実施等、教職員の意欲向上に向けたモニタリングを行う。

- ・ 教職員の意欲を高め、資質能力の向上を図るため、教育実践、研究活動、大学運営などにおいて顕著な成果をあげた教職員に対し、表彰を行う。

(4)アントレプレナーシップ（起業家精神）教育の推進

- ・ 起業家の育成や組織の革新及び活性化を実現できる人材を輩出するため、東海地区の大学コンソーシアムなどを活用し、学生、教職員向けにアントレプレナーシップ講演会を開催する。また、近隣の中・高校生向けのアントレプレナーシップ教育に関するイベントを開催する。

数値指標	令和8年度の目標値	直近の値	参考年度/参考値
アントレプレナーシップ講演会 回数及び参加人数	7回、1,000人	令和6年度 7回、824人	令和5年度 7回、957人

- ・ 岐阜薬科大学客員共同研究員規程に基づき、大学において専門的かつ高度の共同研究に従事しようとする者を研究員として積極的に受入れるとともに、岐阜市公立大学法人職員兼業規程に基づき、教員の兼職・兼業の管理を法人の自律的な判断の下で適正に行い、起業の促進および事業の発展を促す。

(5) 入学者受入れを見据えた薬学への関心の喚起

- ・ 若い人の薬学への関心を喚起し、目的意識の高い入学志願者の増加につなげるため、オープンキャンパスや近隣の中・高校生向けのアントレプレナーシップ教育に関するイベントを開催するとともに、小・中学生、高校生を対象とした薬学や科学に関する本学主催以外のイベント等へ教職員を積極的に派遣する。

2 研究に関する目標を達成するためにとるべき措置

(1) 研究力の向上

- ・ 大学単位、教室単位、個別教員単位での研究力の経年推移や現状を視覚化し、課題を抽出して、それぞれの単位での課題解決策を実行する。そのために令和8年度は、研究企画URA室管理下に客員教授を、その専門的な経験に応じて担当教室を割り当て、課題解決のための支援を引き続き行う。具体的には、助成金申請、産官学連携、大学発ベンチャー設立準備などに関するレビューやアドバイスなどの支援を行う。
- ・ URA人材を活用して、組織間の連携を活発化し、研究資金増加等を目指す。また、企業や行政との情報交換や交渉を行い、新たな共同研究の創出を行う。これらのことにより、大学の強みである新薬開発等の挑戦的な研究をより推進していく。さらには、既設の大学発ベンチャーとの連携を行うとともに、学生発ベンチャーの創設を目指す。
- ・ 本学OBからの寄附金を活用し若手研究者や学生に対する研究支援制度を構築する。

(2) 地域住民の健康と生活の質向上への貢献

- ・ 薬草園を一般公開し、他市町や高校等での教室や講演会を実施する。地域に根差したコホート研究、薬草園及び子ノ原川島記念演習園を活用した伝承薬の研究を推進し、薬用植物の栽培や調整加工に取り組む。
- ・ 違法薬物に関する研究など、人々が健康かつ安全に暮らせるための研究を推進し、その成

果について岐阜市をはじめ全国に発信する。

(3) 岐阜市の活性化と地域産業の発展への支援

- ・ 岐阜市や岐阜県等の審議会委員就任への協力をはじめ、大学の持つ知見を提供する。岐阜薬科大学客員共同研究員規程に基づき、大学において専門的かつ高度の共同研究に従事しようとする者を研究員として積極的に受入れるとともに、岐阜市公立大学法人職員兼業規程に基づき、特に大学発ベンチャーにおける教員の兼職・兼業の管理を法人の自律的な判断の下で適正に行いながら、学内のスタートアップ推進室において起業や事業に係る助言・支援を行い、起業の促進及び事業の発展を促す。
- ・ 岐阜市の地域産業を題材に課題解決のための創薬や研究を介した製品の特長付け（価値向上）などを行い、地域産業の発展に貢献する。

(4) 倫理・利益相反に関する規範遵守

- ・ 倫理審査、利益相反及び知的財産について、岐阜薬科大学倫理審査委員会規程、岐阜薬科大学利益相反マネジメント規程、知的財産ポリシーに基づき、適切な管理運営を行うとともに研修を実施し、全教職員に対し、周知徹底を図る。

数値指標	令和8年度の目標値	直近の値	参考年度/参考値
研究倫理等コンプライアンス 研修の受講率	100%	令和6年度 100%	令和5年度 100%

(5) 外部資金の獲得等による研究基盤強化

- ・ 更なる外部資金の獲得に至る好循環の形成に資するため、学内各種委員会、大学運営会議等で競争的研究資金の調達・管理、知的財産の管理・活用等をマネジメントする。
- ・ 法人の機動的な判断の下で研究費を戦略的に配分し、研究機器の計画的な購入及び将来の発展が期待できる優れた着想をもつ研究に対し助成金を交付する。
- ・ 令和7年度に新たに策定した岐阜薬科大学学術指導取扱規程に基づき、学術指導に対する対価を研究費等に還元する。

(6) 研究成果の活用と積極的な情報発信

- ・ 研究成果をプレスリリースや大学ホームページを活用し、国内外に発信するとともに、研究シーズをシーズ集の発行や学会発表等を通じて、積極的に発信する。
- ・ 教員著作図書の収集や機関リポジトリの整備などによる大学の研究成果を蓄積し、大学ホームページを活用して発信する。
- ・ 技術移転の促進、共同研究の活性化及び研究成果を活用した企業支援等の知的財産の活用を推進するため、知的財産ポリシーに基づき、知的財産の帰属、取扱い、知的財産権の取得及び維持、発明者への補償について組織的に管理・運営する。

(7) 他研究機関等との連携

- ・ 製薬企業等の製造業、岐阜市や岐阜県等の行政機関、岐阜大学等の東海地域の大学、金融機関との連携協定等を通じて産官学金の連携強化を推進する。
- ・ 他大学と比べて設置数の多いことが特長である寄附講座、共同研究講座の積極的な開設を推進する。
- ・ 岐阜市や岐阜県等の審議会委員就任への協力をはじめ、大学の持つ知見を提供する。大学

の持つ研究設備のうち、汎用性の高いものについては対価を含む適切な管理を行うため、他大学の管理方法等について調査・研究していく。(再掲)

- 大学の保有する研究シーズと産業界のニーズのマッチングを図るため、「ライフサイエンス拠点の形成に向けて」パンフレットを活用し、イノベーションの促進と新産業創出を図る。

3 学生への支援に関する目標を達成するためにとるべき措置

- 学生の学修上の諸問題や課外活動上の援助指導等を推進するため、担任・アドバイザー制度心理カウンセラーによる相談体制を設け、学生が健康で充実した学生生活を送れるよう支援する。
- 学生に対して、学内合同企業説明会、OB・OG 就職説明会、キャリアガイダンスを開催し、自身の適性に応じた進路を選択できるような支援を推進する。
- ハラスメント防止対策ガイドラインを定め、全てのハラスメント行為その他の人権侵害行為を防止する。また、ハラスメント相談窓口を設け、学生が安心して学究に専念できる健全な大学環境の維持に努める。
- 障がいのため合理的な配慮を必要とする学生に対しては、岐阜薬科大学における障がいを理由とする差別の解消の推進に関する教職員対応要領に基づき、障がいの種類や状況に応じて個別的に修学支援を行う。
- 学生のキャンパスライフの利便性向上のため、食や物品を提供する店舗等の設置に向けて検討を行う。

第2 地域貢献、地域社会との連携及びグローバル化に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 地域貢献、地域社会との連携に関する目標を達成するためにとるべき措置

(1) 地域課題等の解決等への貢献

- 岐阜市や岐阜県、企業等との連携を深めるとともに、審議会委員への就任や講師依頼等に積極的に協力し、専門的知見の提供を行う等、多様な地域課題及び行政課題の解決に寄与する。
- 大学ボランティアサークルが実施するフードドライブや演劇部によるワクチン接種の啓発劇の実施等、地域の人々に対し薬学に関する情報提供及び啓発を行う学内のクラブ活動等を支援し、地域の抱える多様な課題の解決に寄与する。
- 地域貢献活動を集約したチラシを作成し、積極的に配布を行っていく。

(2) 地域社会の医療・保健・福祉への貢献

- 岐阜市民病院、岐阜大学医学部附属病院、大垣市民病院、長良医療センター内にサテライト研究室を引き続き設置し、病院や大学単体では取り組むことができない、実臨床における薬物療法の有効性や安全性に関する研究を推進し、医療の進歩に貢献する。また、臨床研究を通じて病院・薬局等において、薬剤師として臨床・研究の両面で活躍できる人材育成を行う。
- 岐阜市をはじめ地域やへき地における病院等での薬剤師の人材輩出のため、病院・医療機関等を対象とする就職ガイダンスを実施する。
- 地域医療、在宅医療、学校薬剤師業務及び薬事行政に係る卒後教育を実施し、キャリア形成を促す。また、地域の医療サービスに直結する薬剤師を継続的に育成するために、社会で活躍する薬剤師等を対象に薬剤師生涯学習講座を実施する。

数値指標	令和 8 年度の目標値	直近の値	参考年度/参考値
薬剤師等を対象とする 講座の参加人数	100 人	同右	令和 5 年度（3 年平均） 89 人

- ・ 市民や小・中学校等を対象に市民公開講座等の健康と生活の質向上等につながる講座や研修を実施する。

数値指標	令和 8 年度の目標値	直近の値	参考年度/参考値
健康と生活の質向上等につながる 講座・研修の参加人数	50 人	同右	令和 5 年度 41 人

- ・ 薬用植物の見本園であり、研究材料の栽培及び試験栽培を目的とした薬草園について、市民の生涯学習に役立てるため、ガイドボランティアの協力のもと、一般開放を行う。（4 月～10 月の月、水、金、日曜日）

（3）地域の産学官金連携によるイノベーション創出

- ・ 大学の保有する研究シーズと産業界のニーズのマッチングを図るため、「ライフサイエンス拠点の形成に向けて」パンフレットを活用し、イノベーションの促進と新産業創出を図る。（再掲）
- ・ 岐阜薬科大学客員共同研究員規程に基づき、大学において専門的かつ高度の共同研究に従事しようとする者を研究員として積極的に受入れるとともに、岐阜市公立大学法人職員兼業規程に基づき、教員の兼職・兼業の管理を法人の自律的な判断の下で適正に行い、学内のスタートアップ推進室において起業や事業に係る助言・支援を行いながら、起業の促進及び事業の発展を促す。（再掲）
- ・ 新キャンパスの整備・統合により、岐阜大学とあわせ、医学、薬学、工学、獣医学、農学が揃う全国屈指の学術研究拠点となるメリット及び岐阜インターの開通の機運を活かし、岐阜市や岐阜大学と連携しながら関連する研究機関や企業の立地誘導を推進し、付加価値の高い産業集積を目指すことで岐阜市のライフサイエンス拠点の形成に寄与する。

2 グローバル化に関する目標を達成するためにとるべき措置

（1）グローバルに活躍できる人材の育成

- ・ 英語によるコミュニケーション能力及び情報発信力の向上のため、TOEIC 学内試験を年 4 回実施するほか、岐阜市立女子短期大学と英語プレゼンテーションコンテストを共同開催する。（再掲）

数値指標	令和 8 年度の目標値	直近の値	参考年度/参考値
英語力が CEFR B レベル以上の 学生の割合	65%	同右	令和 5 年度（10 年平均） 63%

- ・ グローバル人材育成に関する特別講義や英語関連イベントの実施等の開催を通じて、語学力のみならず、相互理解や新しい価値を創造する力、また社会貢献に対する高い意識を持った人材を育成する。

(2) 海外の大学・研究機関との学生・教員交流

- ・ 海外で学ぶ機会を増やすため、JST SPRING を中心に米国等へ海外派遣や製薬会社等での国内インターン等に積極的に取り組む。
- ・ 海外からの研究者を積極的に受け入れるとともに、大学間協定を締結する浙江大学薬学院（中国）、フロリダ大学薬学部（米国）などへの学生の派遣及び受入等を実施する。

(3) 外国人留学生の受入れの推進

- ・ 外国人留学生の受入を推進するため、英語による入学試験の受験を認めるほか、授業の際には外国人留学生が理解しやすいよう英語での講義の実施や補助資料を提供するなど、グローバル化に対応した教育環境を整備する。

第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 法人運営の強化に関する目標を達成するためにとるべき措置

(1) 適切なガバナンスを確保するための組織体制の整備及び運用

- ・ 理事長のリーダーシップの下、法人と大学の組織間の連携を強化し、迅速な意思決定を行うとともに、機動的な運営を行うため法人の意思決定プロセスの適宜見直しを行いながら、適切に法人を運営していく。
- ・ 法人を戦略的にマネジメントできるガバナンス体制を構築するため、内部統制システム等を定める業務方法書に基づき業務を適正に執行するとともに、適時見直しを経営審議会において図る。

(2) 弾力的かつ適正な人事制度の構築及び運用

- ・ 岐阜市公立大学法人職員人事考課規程に基づき、公正かつ適切な人事及び評価を実施する。
- ・ 教職員が大学や社会に貢献できるよう岐阜市公立大学法人職員兼業規程に基づき、適切な運用に努める。

(3) 人材の育成及びダイバーシティの推進

- ・ 業務の専門性などを考慮し、事務局での法人固有職員（プロパー職員）の採用試験を実施するとともに、令和8年度に採用したプロパー職員には研修などの研鑽機会を積極的に与える等、有為な人材の確保と育成を行う。
- ・ ダイバーシティ研修会を実施し、ダイバーシティ推進ポリシーの周知徹底を図る。女性教員の登用、外国人研究者の受け入れを積極的に行う。子育てを行う教員に対しての支援として、研究補助員を任用してサポートを行う。
- ・ 障がい者の方を対象とした職員採用試験を実施し、障害者雇用促進法第43条第1項に規定する障害者雇用率の遵守に努める。

数値指標	令和8年度の目標値	直近の値	参考年度/参考値
女性教授の数	1人	同右	令和6年度 0人
障がい者雇用率	2.8%	同右	令和6年度 —

- ・ 研究補助員配置制度（育児や介護等により研究時間の確保が困難な研究者を対象に研究デ

ータ解析、学会発表資料作成等の研究補助業務を行う研究補助員を配置する制度)により、教員が出産・育児・介護等の家庭生活と研究活動との両立ができるよう支援する。

(4) コンプライアンスの強化

- ・ 研修等を通じて役員及び教職員に対する意識の徹底を図るとともに、岐阜市公立大学法人内部監査規程による内部監査を実施し、法人業務の適正化を図る。

数値指標	令和8年度の目標値	直近の値	参考年度/参考値
研究倫理等コンプライアンス 研修の受講率	100%	令和6年度 100%	令和5年度 100%

- ・ 役員及び教職員の人権尊重に対する意識向上を図るため、研修会等を実施する。

数値指標	令和8年度の目標値	直近の値	参考年度/参考値
ハラスメントに関する 研修の参加率	100%	令和7年度 100%	令和6年度 78.5%

2 業務の効率化・高度化に関する目標を達成するためにとるべき措置

- ・ 法人業務全般について学内の各種委員会等を通じて教員と事務局員の連携を強化するとともに、薬学DX推進室を中心とし学内におけるDX推進やAI活用による業務効率化を推進する。
- ・ 学生に対し、ノートパソコン等を持参して学ぶBYODを推奨するとともに、成績開示（個別学力検査の点数・順位等）のオンライン化に取り組み、利便性及び効率性を高める。
- ・ 人事給与、財務会計業務における電子化を進め、原則ペーパーレスを引き続き推進していく。

数値指標	令和8年度の目標値	直近の値	参考年度/参考値
契約・会計に係る決裁の ペーパーレス化の割合	100%	同右	令和5年度 0%

第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 自己収入の確保に関する目標を達成するためにとるべき措置

- ・ 大学同窓会の活動を通じて卒業生や企業などに対し、様々な機会をとらえて大学への理解を深めてもらうことにより、寄附金を募り、教育・研究推進のための基盤の整備等を図る。また、広く寄附が寄せられるような仕組みづくりを検討する。
- ・ 教育・体育施設に係る施設使用料徴収を開始し、自己収入のさらなる増加を行う。
- ・ 大学ホームページを充実させるとともに地方試験の実施を行うなど、効果的な学生募集により入学志願者の確保及び入学定員の充足に努め、安定した授業料等収入の確保に努める。

数値指標	令和8年度の目標値	直近の値	参考年度/参考値
入学志願者数	1,100人	令和7年度(3年平均) 1,101人	令和6年度(3年平均) 1,031人

- ・ 更なる外部資金の獲得に至る好循環の形成に資するため、学内各種委員会、大学運営会議

等で競争的研究資金の調達・管理、知的財産の管理・活用等をマネジメントするほか、研究費獲得のための有益な情報提供及び申請支援を行うため、若手教職員に対し、年長教職員による科研費や研究費の取得に関する講演会を開催する。(再掲)

- ・ 法人の機動的な判断の下で研究費を戦略的に配分し、研究機器の計画的な購入及び将来の発展が期待できる優れた着想をもつ研究に対し助成金を交付する。(再掲)

2 予算の効率的かつ適正な執行に関する目標を達成するためにとるべき措置

- ・ 会計事務支援を受ける監査法人の助言等により財務状況の検証・分析を行い、適切な予算管理を行うとともに、会議のペーパーレス化や使用エネルギーの実態把握等の管理的経費の抑制に努めるなど効率的な予算執行を進め、自己財源比率の向上に資するよう資金管理計画に基づく債券運用を進め、自律的かつ安定的な経営の確保に努める。

第5 自己点検、評価及び情報提供に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 自己点検及び第三者機関による評価の充実に関する目標を達成するためにとるべき措置

- ・ 大学が保有する教育研究に関するデータを教学 IR 推進室で一元的に収集・分析し、大学運営会議や教授会等において大学の組織運営のための計画立案や意思決定に活用し、内部質保証機能（PDCA サイクル）を活性化し、継続的・組織的な改善に努める。
- ・ 自己点検評価委員会において定期的に自己点検・評価を行うとともに、(一財)大学教育質保証・評価センターの大学認証評価及び(一社)薬学教育評価機構の薬学教育評価を受審し、その評価を踏まえながら教育研究及び大学運営の改善と充実を図る。

2 情報の提供・発信による透明性確保に関する目標を達成するためにとるべき措置

- ・ 教育研究活動や、市民公開講座等の地域貢献活動など大学の魅力を伝える、効果の高い資源について、その情報に適した新聞、テレビ、SNS等の広報媒体を選択しながら積極的に大学の魅力が国内外に伝わるよう発信する。
- ・ 地域貢献活動を集約したチラシを作成し、積極的に配布を行っていく。(再掲)

第6 その他業務運営に関する重要目標

1 施設・設備の整備及び有効活用に関する目標を達成するためにとるべき措置

- ・ 既存の施設・設備を有効に活用するため、老朽化に伴う設備等（空調設備、衛生設備、電気設備等）の修繕・更新を実施し、適切な維持管理に努める。
- ・ 蛍光灯の照明器具が多数あり、将来において蛍光灯の入手が困難となるため、令和8年度は本部キャンパスのLED照明器具への更新を行う。
- ・ 新キャンパス整備について、岐阜市企画部岐阜薬科大学キャンパス整備推進課で主宰する新キャンパス整備ワーキンググループ、薬大移転・統合連絡会議に教職員が参画し、魅力あるキャンパスの実現に向けて整備推進に寄与する。

2 危機管理及び安全管理に関する目標を達成するためにとるべき措置

(1) 危機管理の徹底

- ・ 岐阜市公立大学法人危機管理規程に基づき、事故、災害等の未然防止と、事故・災害等が発生した場合に適切に対処できるよう避難訓練や情報伝達訓練を実施する。
- ・ 個人情報、法人情報等を適切かつ厳格に管理するため、岐阜市公立大学法人情報セキュリ

ティポリシーを整備し、情報セキュリティ対策の強化に取り組む。

(2) 安全管理の徹底

- ・ 衛生委員会を開催し、ワークライフバランスの確保、インフルエンザ・感染症予防などの議論を通じ、学生及び教職員の安全と健康を確保するとともに、快適な修学・職場環境の形成を促進する。

令和8年度予算

単位：千円

区 分	金 額
収入	
運営費交付金	1,415,396
授業料及び入学料検定料	421,403
雑収入	48,978
外部資金等収入	585,556
計	2,471,333
支出	
教育研究経費	319,187
人件費	1,167,189
一般管理費	399,401
外部資金等経費	585,556
計	2,471,333

令和8年度収支計画

単位：千円

区 分	金 額
費用の部	2,472,318
經常費用	2,472,318
業務費	2,017,116
教育研究経費	849,927
人件費	1,167,189
一般管理費	385,215
減価償却費	69,987
臨時損失	0
収入の部	2,471,333
經常収益	2,471,333
運営費交付金収益	1,415,396
授業料収益	357,729
入学料検定料収益	63,674
受託研究等収益	334,555
寄附金収益	145,000
その他収益	154,979
臨時利益	0
純損益	-985
総利益	-985

令和8年度資金計画

単位：千円

区 分	金 額
資金支出	2,471,333
業務活動による支出	2,402,331
投資活動による支出	54,816
財務活動による支出	14,186
資金収入	2,471,333
業務活動による収入	2,469,343
運営費交付金による収入	1,415,396
授業料及び入学料検定料による収入	421,403
受託事業等収入	334,555
寄附金収入	145,000
その他の収入	152,989
投資活動による収入	0
財務活動による収入	1,990